



遠大勵志

インターハイお疲れ様！

【陸上競技】

【8/3 岩手日報記事より】

●女子100m障害予選 1組

駒ヶ嶺光瑠 14秒46 落選

【8/4 岩手日報記事より】

●女子走り高跳び予選 1組

八重樫澄佳 1m66 = 決勝進出

●女子走り高跳び決勝

八重樫澄佳 記録なし

●女子100m予選 7組

大山里花 12秒15 落選

●男子100m予選 3組

高杉時史 10秒75 追い風参考、落選

【1年生八重樫「良い経験だった」】

女子走り高跳びの八重樫澄佳(黒沢尻北)は、1年生ながら決勝に進出した。最後は思うような跳躍ができず記録を残せなかったが「大会の雰囲気を感じ、トップレベルの選手と戦えて良い経験だった」と結果を受け止めた。

予選通過ラインの1m66は跳躍がふわりと体が浮き上がりバーを大きく越えた。「1年生なので、



失うものは何もない」。自らに言い聞かせて自然体の跳躍を心掛けた。しかし、決勝前の練習で思ったほど跳べなかった。内傾する助走を修正したものの、1m63を3回失敗した。

猛暑の中のコンディション調整も経験になった。「まだまだ課題はいっぱいある。これから直して今後の大会につなげる」とリベンジを誓った。

【男女100m黒沢尻北勢が奮闘】

男女100m予選に登場した黒沢尻北勢が力走した。男子の高杉時史(1年)と大山里花(3年)は予選敗退に終わったが、納得の走り強豪に食らいついた。

大山が考案したメニューで、2人はスタートを鍛えてきた。全国の舞台で気後れすることなく、狙い通りの動きで飛び出した。

高杉は中盤まで大きく離れず粘った。追い風参考ながら10秒9台の自己ベストを大きく上回



る10秒75をマーク。「来年は今日の経験を生かし、東北で優勝して全国で勝負する」と目を輝かせた。

大山は高杉から託されたのはちまきを巻いて登場した。他の選手の加速に圧倒されて中盤以降に動きが硬くなったが、自己記録の12秒15でゴール。「勉強との両立が大変だったけど、短時間集中の練習をこなしてきた結果。記録が出てうれしい」と爽やかな笑顔を広げた。

【8/5 岩手日報記事より】

●女子棒高跳び予選 2組

金子遥果 3m50 落選

【ソフトテニス女子】

【8/1 岩手日報記事より】

【女子1回戦】

●杉沢梨・伊藤陽色(黒北)4 - 3三重・三重高ペア

【女子2回戦】

●杉沢梨・伊藤陽色(黒北)0 - 4奈良・高田商業高ペア

●崎山恵子・菊池亜里紗(黒北)0 - 4和歌山・和歌山信愛
ペア

【ソフトテニス男子】

【8/5 岩手日報記事より】

【男子1回戦】

●青木紫朗・小原歩斗(黒北)4 - 2大分・大分ペア

●小岩武瑠・船渡光太郎(黒北)4 - 0鳥取・米子松蔭ペア

【男子2回戦】

●青木紫朗・小原歩斗(黒北)4 - 1栃木・宇都宮短大付ペア

●小岩武瑠・船渡光太郎(黒北)3 - 4茨城・霞ヶ浦ペア

【男子3回戦】

●青木紫朗・小原歩斗(黒北)4 - 2和歌山・和歌山北ペア

【8/6 岩手日報記事より】

【男子4回戦】

●青木紫朗・小原歩斗(黒北)3 - 4三重・三重ペア

インターハイに参加した大山さん、金子さん、駒ヶ嶺さん、八重樫さん、高杉くん、青木くん、小原くん、小岩くん、船渡くん、崎山さん、菊池さん、杉沢さん、伊藤さん13名のみなさん、本当にお疲れ様でした。北上では想像もつかない暑さの中でのコンディション作りも大変だったことでしょう。その中で、精一杯持てる力を出してくれたものと思います。

3年生は悔しさの中にも満足感もあり、それが黒陵での残りの生活の張りになってくれることを願いますし、1年生2年生にとっては、全国の試合の雰囲気を体感できたことは今後の大きな財産になったはずですので、みなさんが、それぞれの部での先立ちになって是非とも頑張っ欲しいと思っています。本校からは、13名もの多くの選手がインターハイに参加しましたが、これほど多くの生徒がインターハイに参加した高校は県内では、そう多くはないものと思っています。勉強も頑張り、部活動でも高いレベルで競い合うみなさんには、大きなエールと拍手を送ります。

まもなく新人戦など、新チームによる大会も始まります。一人一人が、学習と部活動を高いレベルで頑張れる環境にあることを自覚して、精一杯頑張っ欲しいと願っています。

【7/30岩手日報記事より】

黒沢尻北高生3人報告会

中国派遣の感動、発見伝える

海外派遣交流事業「第2回 HABATAKE!黒陵」に参加した2年生は28日、同市大通りのおでんせプラザぐろーぷで報告会を開いた。3月に訪れた中国広東省深圳市などで体感したグローバルな視点を伝えた。

第82回北上ユネスコ協会(小笠原味佐枝会長)の講演会内で行われ、派遣生徒10人のうち、後藤俊介さん(2 - 2)、後藤陽和さん(2 - 1)、高橋陽美さん(2 - 5)の3人が報告した。現地で日系企業を支援する深圳テクノセンターや深圳大



を見学し、1週間滞在。後藤俊介さんは「出稼ぎの若者が多く街が速いスピードで発展している」とQRコードによる非現金決済などの最新技術を紹介した。高橋さんは、「世界のユースに関心を持ち外国語の勉強を

大切にすべきだと思った」、後藤陽和さんは「言葉が通じなくても絵で意思疎通する経験もできた。将来は標識などのデザインを学んでみたい」と感想を述べた。同校の海外交流事業は2016年度から始まり、同窓会やPTAが支援している。

中学生一日体験入学アンケートでの感想

先月27日に行った一日体験入学に参加して頂いた中学生のみなさんからの自由記述欄に書かれた感想の一部を紹介します。

- ・吹奏楽部、音楽部の演奏が素晴らしい。本当に感動した。
- ・説明がわかりやすく、楽しそうなことが伝わってきました。勉強と部活動の両立もしっかりできそうな感じがしました。
- ・この体験入学を通して、黒北に入学したい気持ちがより強くなりました。
- ・学校説明のDVDのクオリティが高くてすごかった。
- ・学校のVTRがとても迫力があり、部活動などの様子がよくわかりました。
- ・中学校とは違い、自分の進路に向けて一生懸命だな、と思った。楽しかった。
- ・黒陵の魅力がよくわかりました。
- ・黒陵祭にきてみたいと思いました。